

令和3年度第7回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和4年1月6日（木）18：00～19：00

【場 所】 浜益支所2F庁議室

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 地域おこし協力隊募集要項
- 3) 集落支援員募集チラシ（回覧）

【出席者】 8名（13名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
会長	渡邊 隆之	○	委員	渡邊 真奈美	○	委員	水崎 理	○
副会長	佐藤 晃一	○	委員	阿部 ゆかり	○	委員	徳田 和之	
委員	岡本 俊介		委員	木村 美幸		委員	柿岡 奈々絵	○
委員	久慈 貞子		委員	徳地 克実	○			
委員	鳴海 翔	○	委員	赤間 香子				

（支 所） 畠中支所長、開発市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）
 宇野市民福祉課保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、浜益国保診療所庶務課長）
 小島保健師

（本 庁） 企画経済部企画課 中西次長、芳賀主査

（事務局） 佐々木地域振興課長、柿崎主査

【傍聴者】 4名

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
 地域おこし協力隊及び集落支援員の募集について
- 4 報告事項
 (1)縁ジョイクラブの取り組みについて
- 5 その他
- 6 次回の開催日程について
- 7 閉 会

1 開 会

【事務局】

新年早々、お集まり頂きありがとうございます。
只今より、令和3年度第7回浜益区地域協議会を開会いたします。

2 会長あいさつ

みなさん新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく申し上げます。

今年のお正月は大みそかから元旦にかけて、2日夕方から3日にかけても暴風雪警報が発令されまして、吹雪や雪かき等に追われた毎日で大変だったと思います。

また、ようやく収束に向かいつつありました、新型コロナウイルス感染症もオミクロン株という感染力の強い新たな変種によりまして、市中感染等大変増加傾向にあります事から、これまで以上により一層感染防止対策の徹底に努めていただきたいと思います。

今年は壬寅（みずえのとら）です。壬寅は厳しい冬を超えて芽吹き始め新しい成長の礎となる年と言われております。ですけれども、元旦早々暴風雪による大荒れの天候ではありましたが、当地域協議会におきましてもより一層の躍進の年になります事を期待しております。

皆様方におかれましても、今年1年が健康で素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

本日の議題は地域おこし協力隊及び集落支援員の募集について、報告事項として縁ジョイクラブの取り組みについてです。委員皆様方の活発な議論をどうぞよろしく申し上げます。

【事務局】

本日の会議は委員13名のうち8名が出席し、過半数に達し成立していることを報告します。

3 協議事項

【渡邊会長】

本日は協議事項と報告事項それぞれ1件を予定しております。

はじめに「地域おこし協力隊及び集落支援員の募集について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

令和4年4月1日採用予定の地域おこし協力隊の募集について説明します。

令和4年度は厚田区と浜益区それぞれ1名を募集します。応募の締め切りは2月28日（月）まで、募集する活動内容は厚田区の特産品の継承、浜益区の高齢者サロンの運営と浜益のソウルフードの普及・伝承としています。

浜益区隊員のミッションの一つは高齢者サロンの企画・運営です。令和2年6月にオープンした高齢者サロンを運営する地元の皆さんと協力し、元気なお年寄りを益々元気にさせるさらなる展開としております。

具体的な内容につきましては、現在、活動している皆さんとのご相談になると思いますけれども、月1回から2回開催しているカフェ・クローバーの活動内容の充実や拡大、さらには現在の柏木地区だけではなく、区内他地域でも開催、横展開できないかとの期待も含めています。

次にもう一つのミッションが、浜益ソウルフードのPRと伝承です。これは、けんちん汁、ニシン漬、タレ付きジンギスカンなど、地元民が当たり前と考えておりました浜益のソウルフードをPR、後世に伝承していく活動に取り組むとしております。

特にタレ付きジンギスカンは、昨年末にお店の方とお話しができて「自分たちができることは協力します。」とのお返事をいただいているところです。

このミッションを目指す、新しい協力隊の方が採用できましたなら、このお店のご支援もいただきながら、浜益ソウルフードの普及・伝承に活躍していただければと考えております。

このように令和4年度の地域おこし協力隊の募集にあたりましては、従来のフリーミッション型、自身のスキルを活かして何かやってみようという募集方法を変更し、もう少し的を絞った、ミッションを2つ掲げて募集することにしました。

なお、自由企画枠としまして、従来のフリーミッション型についても、その実践が可能かどうかを

含めて個別に判断することとしております。

そのほか基本的な活動内容、待遇と福利厚生、募集要件及び勤務条件については資料記載のとおりです。採用スケジュールについてですが、募集期間は1月6日（木）から2月28日（月）とし、書面による一次選考は3月初旬、面接による2次選考は3月9日（水）に実施する予定となっております。応募状況等については次の地域協議会で報告させていただきたいと思っています。

次に新年度から新たに募集する集落支援員についてご説明します。まず、新規予算要求にあたりまして、昨年の地域協議会でも説明してきましたが、この集落支援員は、国からの財源措置される集落支援員制度を活用し、人口減少及び少子高齢化が著しい浜益区・厚田区において、地域の巡回や点検活動等を行い、そこで見つかった地域課題等の解決に向けて様々な活動に取り組んでいただくことを想定しています。

募集人員は1名、雇用形態は市の会計年度任用職員で報酬月額が20万8千円となっております。こちらについては先ほど説明した、地域おこし協力隊と同じ内容となっております。任用期間については、原則令和4年4月1日からの1年間となっておりますが、活動実績によっては1年単位で延長する場合があります。勤務時間等も地域おこし協力隊同様、原則週5日、午前9時から午後5時までとなります。募集要件としましては、この職務の内容から、浜益区やかつての浜益村居住または居住経験があり、浜益区の事情に詳しく地域の活性化に熱意をもって活動できる方としております。

このことにより、都市部など外の人材による地域活性化を目指す「地域おこし協力隊」に対し、地域の実情により詳しい「内部の人材」を求めることによって、双方の活動の相乗効果を狙うとしております。

具体的な役割として2点掲げております。その1といたしましては「移住定住アドバイザーとしての活動」です。「関係人口層への移住定住アプローチ活動」といたしまして、今年度から開始したワーケーション事業やお試し協力隊など、関係人口として浜益を来訪する人々に田舎暮らしをコーディネートする活動や、田舎生活関心層の方々に対しまして、地域の皆さんと協力して移住定住をアプローチする活動、また「地域の担い手支援確保の活動」といたしましては、現在準備を進めております、特定地域づくり事業協同組合の設立を見込みまして、マルチワーカーと派遣先とのマッチングやコーディネート活動、NPOや大学等による都市部学生の農漁業作業支援や体験等のサポート活動を想定しております。

その2といたしましては「集落コーディネーターとしての活動」です。まず「13集落の点検・課題収集活動」では、各集落の課題のリサーチやその解決に向けて地域協議会や市役所との橋渡しの役割を果たしたり、消えゆく浜益の伝統文化や風土・風習を地域おこし協力隊やNPOと連携して後世に伝えていく活動、また「地域と学校をコーディネートする活動」としまして、地域と学校をつなぎ浜益のコミュニティスクールの取り組みを支援する活動などを想定しております。

こちらの募集期間は2月1日から25日としておりまして、書面による1次選考を2月下旬、面接による2次選考を3月上旬に予定しております。

こちらの応募状況につきましても、次回の地域協議会で報告させていただきたいと思っております。

【渡邊会長】

ただいま事務局よりご説明がありましたけれど、確認したい事項やご意見ありますでしょうか？

今までも事務局から説明があったと思います。より詳しい説明があり、特に地域おこし協力隊につきましては具体的な取り組み事項の説明がありました。それと集落支援員の募集ですけれどもこれにつきましてもさらに具体的な活動テーマ、大きな柱が2点設定されており、こういった活動をしていただくとなっておりますけれども、何かございませんか？

【渡邊委員】

会計年度任用職員での採用ということですが、年数期限はあるのですか？

【事務局】

縛りはありません。

【渡邊委員】

本人がやる気であれば何十年でもやれるのですか？

【事務局】

あとは活動実績に応じてということになります。

【渡邊会長】

事務局説明のとおり承認してよろしいですか？

～ 異議なしの声 ～

4 報告事項**【渡邊会長】**

次に報告事項に入ります。

本日の報告事項は縁ジョイクラブの取り組みについてです。

昨年12月の協議会では高齢者に優しいまちづくりを第9期委員の継続検討テーマとすることを確認しておりますが、今回は前回の「カフェ・クローバー」に続いて、縁ジョイクラブの活動について皆さんと情報共有をしたいと思えます。

【宇野課長】

会長からもありましたように第9期は「高齢者に優しいまちづくり」を主要なテーマにさせていただくということで、今回はカフェ・クローバーを紹介させていただきました。今後、皆様に色々ご意見をいただいたりご検討いただきたく、こちらからももう少し情報提供させていただければということで、高齢者の生活や元気の支援をする取り組みの一つであります、縁ジョイクラブにつきまして、地域包括支援センターの小島保健師より皆様にご紹介させていただきます。

【小島保健師】

12月の協議会でカフェ・クローバーについて紹介させていただきました。今日は第2弾ということで縁ジョイクラブについてお話しをしたいと思えます。浜益地域包括支援センターの職員体制は5名で毎日様々な相談業務を行っています。高齢になっても住み慣れた地域で安心して生活していけることを目指しています。包括では総合相談業務のほかに、介護予防の推進や高齢者の権利擁護、生活支援体制整備事業に力を入れております。

介護予防とは呼んで字の如く、要介護状態になること、進行を防ぐことです。そのための手立ての一つとして、浜益区では様々な介護予防事業を行なっています。縁ジョイクラブはそのうちの一つです。

縁ジョイクラブが生まれる前は、包括では転倒予防教室を行っていました。なぜ転倒予防なのかということですが、高齢化で転倒をきっかけに要介護状態になることが非常に多いことがあげられます。浜益では平成17年在宅介護支援センターの頃から地区会館に出向く形で教室を行っていました。

縁ジョイクラブ誕生の背景の一つに、高齢者クラブの衰退があります。縁ジョイクラブは高齢者クラブの例会に合わせて開催しておりましたが、新規加入も少なく解散や休止が相次ぎ、教室開催をどうしていくのかという問題に直面しましたが、これまで通り集まりたいという声が多く、なかには会の名前も考えて迎えてくれた地区もありました。

対象を高齢者クラブに限らず、地域の方が誰でも気軽に参加できるようにという思いを込めて、平成29年に縁ジョイクラブをスタートさせました。

各地区に回覧で周知し、誰が来てもよいということ意識してお伝えしました。内容は転倒予防教室で行っていたものに加えて、脳トレやラダー運動など楽しみながら取り組める要素を加えて、月1回は必ず集まるという継続性を大事にしました。

ここからは写真でご紹介していきます。10時開始に合わせて、皆さん集まっています。まず簡単な健康チェック血圧測定をしていきますが、待ち時間で脳トレをしているところです。

脳トレの後は身体を動かすプログラムです。代々伝わる生き生き体操をしている様子です。輪になって椅子に座りストレッチを行います。オルゴール曲をかけながら、眠たくなってくる、という声があるくらいリラックスします。ボールを使い下肢筋力トレーニング、ラダーは様々なステップを踏みながら手も動かすことで脳トレにもなります。昭和歌謡をBGMにして皆さん喜んでいきます。

縁ジョイの真骨頂がゲームです。既製品のゲームも楽しいですが、スタッフ手作りのものが面白く、

ルールは参加者の人数や年代身体の状態に合わせて変えています。チーム戦が多く、チームの名前を考えるとところから始めますが、ゲームだけみんな真剣でそして大笑いします。私たちも毎回楽しみです。

今はコロナで実施できておりませんが、3月には調理実習を必ず実施していました。男性参加者も必ず何かやってもらいます。4品ほど作るので希望を聞きながらグループ分けします。試食も楽しみでこのメニューのほかに皆さん必ず漬け物を持ってきて、複数並びます。

その他の活動としては、駐在さんや消費生活センターとコラボした講話も行いました。

縁ジョイクラブの参加状況を地区別に説明します。地区によって人口や年齢構成も違うので、比較は難しいですが、縁ジョイクラブとして始めてからは若い方に声をかけやすくなり、実際に参加もしています。

縁ジョイでも事業継続は大事にしてきましたが、コロナでできない期間が続きました。その間、家から出ない、出なくなったという声を多く聞きました。何もしないのが当たり前にならないようにと感じた2年間でした。屋内がダメなら屋外でと青空体操クラブを始めました。参加された皆さん、お互いに声をかけあう姿を見て、大切だと再確認しました。目で見て耳で聞いて、場の雰囲気を感じることで、青空体操クラブでは、他地区に住む人から「行ってごらん」と言われ参加した人がおり、その方が次の回に新しい人を連れてきて、中には「縁ジョイにも来て」と声かけしている場面もあり、まさしく出番と役割だなと感じます。

最後に今後の縁ジョイクラブです。日程は、毎月包括の広報誌「生き生き通信」に掲載します。是非委員の皆さんにもご参加やお声掛け頂ければと思います。今は時間を短縮した内容ですが、コロナが落ち着いたら通常営業に戻したいと思っていますので、スタッフと一緒に運営にも興味がある方もお待ちしております。

【渡邊会長】

ただいま縁ジョイクラブの取り組みについて説明がありました。
委員の皆様から確認等ありますでしょうか？

【鳴海委員】

資料の今後開催予定「終活について考えよう」は回覧で回るのですか？

【小島保健師】

コミセンが会場となっている3月の講話は回覧配布したいと考えております。

【鳴海委員】

今後、認知症などについて予定はありますか？

うちの祖母のためにもぜひ入れてほしいです。身内だと言いくく「終活について考えよう」というセミナーあるけどと誘っても、まだいいと言われるので、行政側からやんわりアプローチしてもらえればと思います。

【小島保健師】

認知症サポーター養成講座というのを包括支援センターで実施していますが、それもコロナ禍でこの2年間実施できていません。通常はコミセンで実施していましたが、今年はカフェ・クローバーで実施しようかと考えていますので、是非ご参加ください。

【柿岡委員】

生きがいづくり学園もありますよね？リハビリ教室もありますよね？どれがどれでどういうコンセプトでやっているのか、理解できていないのですが

【小島保健師】

広く言えば介護予防事業ですが、他にも悠々サロンですとか編み物教室、男塾などあります。今は中々できていませんが、どれもターゲットは高齢者となります。縁ジョイクラブだけが高齢者プラス地域の人という感じです。次に説明の機会があれば他の介護予防事業もご紹介できればと思います。

【事務局】

活動の参加率はどのぐらいですか？区民の6割が高齢者ですので、地域協議会としても何か関わる事ができるのではと思います。

【小島保健師】

2年間実施できていないので、令和元年のデータでトータル421人です。

各地区それぞれで、集まってくれる方が少ない地域などありますが、少ないところだと1回4人、多いところだと1回あたり10人など実績があります。比較的若い方が参加されている地区はその方々がリードするというか、場の雰囲気など盛り上げるので次につながっている感じがします。青空体操クラブの流れから縁ジョイクラブにも来てもらいたいと考えています。

5 その他

【渡邊会長】

この場をお借りして、皆さんから話題提供等ありませんか？

【渡邊委員】

私の仕事の関係で、低学年児童を預かってくれるところが無くて困っています。

【渡邊会長】

学童保育は保育園でやっているのでは？

【渡邊委員】

事前の申し込みで、午後3時以降でなければ利用できません。

きらりの図書館のスペースなど利用して、子供の預け場所にできないのかなと思いました。

【渡邊会長】

この場で結論を出せる話題ではありませんので、課題として捉えていきたいと思います。

【事務局】

浜益区地域おこし協力隊の高橋隊員の退任について報告（12/31付）

6 次回の開催日程について

【事務局】

次回ですが、2月下旬を予定したいと考えております。

主な内容は地域おこし協力隊と集落支援員の募集状況についての報告です。

詳しい日程は後日改めてお知らせいたします。どうぞよろしく申し上げます。

7 閉 会

令和4年1月17日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 渡 邊 隆 之